

4 1人1台端末の利活用に係る計画

(1) 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

※1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等を通じて実現を目指す学びの姿を記載する。

野田市では「自己の学びをもとに、他者と協働して、よりよい未来を切り拓く」ことを GIGA スクール構想でめざす子どもの姿としています。具体的には、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等、生きて働く知識・技能、道の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を身につけることを目標としています。そのために、これまでの授業実践（野田教育の蓄積）と最先端の ICT を組み合わせることにより学習活動の一層の充実、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を目指しています。さらに、今年度はデジタルかアナログかの二者択一ではなく、学習の目標によって選択したり、両者を組み合わせたりすることで、児童生徒が「選択する力」を養い、個別最適な学びを促していくことに力を入れています。

(2) GIGA 第1期の総括

※令和5年度までの間に GIGA スクール構想の実現に向けて実施してきた端末と通信ネットワークの整備や、これらを活用した学びの実践のための取組等の総括を行い、その結果を記載するとともに、明かになった課題については、その解決策とともに記載すること。

（課題及び解決策としては、端末、通信ネットワーク、周辺環境等のハード面に係るもののほか、その利活用方策に係るものが想定される。）

令和3年度に学習者用端末の整備が完了し、野田市として「Google パートナー自治体」に加入し、Google から様々な支援をいただきながら端末活用を進めることができた。Google 主催の超初心者研修アゲイン研修から Google 認定資格の受験のための研修まで様々なレベルの研修を進め、野田市の教員の ICT 活用率が全国に比べて高い。

「活用事例のおすそわけ」という取組で、市内の教員が活用事例を投稿し、令和5年度に活用事例が1000を超えた。その活用事例の中には、授業に関するものに学校 DX 化に関するものもあり、市内の DX 化にも大きく影響を与えている。

GIGA 第2期の導入にあたっては、「活用事例のシェアリング」と題し、集まった活用事例をさらに各学校で活用できるように活用の共有を進めていく。フォームを活用した「ICT 活用チェックリスト」において、各学校が自校の DX 化がどの程度進んでいるか見極め、自校に合った DX 化や ICT 活用を進めることができるようにしていく。

(3) 1人1台端末の利活用方策

「教育DXに係る当面のKPI」に示しているKPIにもとづく現状と目標

項目	KPI	現状値（年度）	目標値（年度）
1人1台端末の整備	指導者用端末整備済みの率	70.7%	75%
	1人1台端末を常時活用ができるよう、十分な予備機を整備しているか。	6.3%	6.3%
ネットワークの改善	無線 LAN 又は移動通信システムによりインターネット接続を行う普及教室の率	100%	100%
	端末利用に係る回線の速度を計測・把握した学校の率	100%	100%
	課題のある学校についてアセスメントを実施済みの自治体の率	100%	100%
	必要なネットワーク速度を確保済みの学校の率	100%	100%
校務のデジタル化	FAX でのやり取り・押印を原則廃止した学校の率	0%	0%
	校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校の率	100%	100%
	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校の率	100%	100%
	次世代の校務システムの導入に向けた検討を行う自治体の率	100%	100%
1人1台端末の積極的活用	毎年度 ICT 研修を受講する教員の率	100%	100%
	情報通信技術支援員（ICT 支援員）の配置	0%	0%
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	93.5%	100%
	デジタル教科書を実践的に活用している学校の率	93.5%	100%
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	90.3%	95%
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上	32.3%	40%

	使用させている学校の率		
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	51.6%	60%
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	45.2%	50%
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	41.9%	50%
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	100%	100%
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率	100%	100%
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	100%	100%
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	100%	100%

